

「健康経営優良法人2026」の「ホワイト500」に8回目の認定

～全ての従業員が健康で生き生きと働くことができる職場環境の整備を推進～

株式会社JVCケンウッドは、経済産業省と日本健康会議が共同で運営する「健康経営優良法人2026」の大規模法人部門において、「ホワイト500」に認定されました。当社が「ホワイト500」に認定されるのは、5年連続8回目となります。なお、「健康経営優良法人」には2018年度から9年連続で認定されています。

「健康経営優良法人」は、健康経営を実践している企業等が社会的に評価される環境を整備することを目的に、企業規模別に日本健康会議が認定しています。今年度は、大規模法人部門に3,765法人が認定され、そのうち上位500法人に「ホワイト500」の冠が付与されています。



<当社の健康経営に向けた取り組み>

当社は、企業理念「感動と安心を世界の人々へ」の実現に向け、「JVCケンウッド健康宣言」を発信し、「全ての従業員が健康で生き生きと働くことができる職場環境」の整備を推進しています。

健康経営の推進体制として、コーポレート部門担当役員直属の「健康管理事業推進委員会」を設置。経営層、産業医、人事部、総務部、労働組合、および健康保険組合などが連携し、各拠点の安全衛生委員会や健康経営推進担当者と共に、健康課題の改善に取り組んでいます。

また、健康課題の可視化と改善に向けて、2030年度を目標年とした「健康経営戦略マップ」を策定しています。エンゲージメントスコアの向上をKGI^{※1}に設定。さらにKGI達成に向けた目標指標として「アブセンティーズム^{※2}の低減」「プレゼンティーズム^{※3}の維持向上」「ワークエンゲージメントの向上」などを設定しています。

※1：Key Goal Indicator（重要目標達成指標）

※2：健康問題による仕事の欠勤

※3：健康問題に起因するパフォーマンスの損失を表す指標

<具体的な施策>

- ・「アブセンティーズムの低減」：生活習慣病・がんなどの重症化予防、精密検査受診勧奨、感染症予防、復職・両立支援の充実
- ・「プレゼンティーズムの維持向上」：ストレスチェック後の医師面接、セルフケア・ラインケア教育、睡眠改善支援、女性の健康課題への対応
- ・「ワークエンゲージメントの向上」：働きやすい職場環境整備（テレワーク・WLB）、コミュニケーション促進、キャリア開発・リスクリング支援

当社は今後も、「健康経営推進」を人的資本戦略の中核テーマに位置付け、健康経営の高度化と実効性向上に取り組むとともに、健康で生産性の高い働き方の定着を推進していきます。

<関連URL>

[JVCケンウッド公式ホームページ「健康経営」ページ](#)
[経済産業省 報道発表資料](#)